

精 進 作 家
双 書 Ⅷ 期

野口香葉句集

天女櫻

本阿弥書店

糸櫻くぐりて天女遊びかな

穂絮とぶ楯となるもの持たざりき

黒葡萄いのちの雫太初より

新雪に影して杭の匂ひけり

春の猫糸より細く啼きにけり

ももいろに犇めく仔豚はるのあめ

花びらのやうに枇杷剥くモンロー忌

鶴送るチャイコフスキーの協奏曲

ソクラテスの妻の鏡の青嵐

秋夕焼豚うつごとしハイネの碑

ダリア燃ゆ行方不明のゴツホの耳

淑気かな夕べ明るき山見えて

ひそめたる声も障りの梅月夜

みづからに問ひつめてゐる冬の瀧

乗りし駅降りたる駅も梅香る

老僧の蕎麦啜りゐる秋簾

板の間を鏡拭きして良夜かな

まつすぐに物見ゆる日よ新樹光

身のうちを漣通る花菖蒲

星磨くものの一つに白水仙

ぴちぴちと金魚のいのち重なれり

母とゐる露草いろの夕べかな

いつか風いつか光になる芒

途切れたる夢をつなぎぬ冬銀河

しみじみと一樹に雪の積りをり

花馬酔木死より静かな息をして

春銀河触れて川面のきらら波

春逝かすつねに路傍の石として

自らの波紋に昏るるみづすまし

花狩女一夜の鏡譲り合ふ

木々
枯る
る
光
の
中
へ
箴
の
音

著者略歴

野口香葉 (のぐち・かよう)

1936年 埼玉県生れ

1993年 「遠嶺」入会

1994年 「遠嶺」同人

現 在 「遠嶺」同人 (高嶺集)
現代俳句協会会員

現住所 〒350-0416 埼玉県入間郡越生町越生741

電 話 049-292-2123

句集 てんによざくら 天女櫻 <精選作家双書Ⅸ>

2002年9月30日 発行

定 価：本体2800円 (税別)

著 者 野口 香葉

発行者 本阿弥秀雄

発行所 ほんあみ 本阿弥書店

東京都千代田区猿樂町2-1-8 三恵ビル 〒101-0064

電話 03-3294-7068 (代) 振替 00100-5-164430

印 刷 三和印刷+方英社 製 本 松栄堂製本所 (1670)

©Kayō Noguchi 2002 ISBN 4-89373-864-X